

I 調査の概要

第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた基礎資料を得ることを目的として、高齢者実態調査を平成19年11月と平成20年1月に実施した。

【市民向け調査】

[] 内はアンケート票の表題

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・ 回収率)	調査 時期	調査内容
高齢者一般調査 (65歳以上) 【抽出】 〔健康や介護についてのアンケート (介護一般調査)〕	第4期計画の基本資料として、平成16年度に実施した高齢者一般調査を基本に経年変化を調査するとともに、制度改正に伴う新規項目を追加し本市高齢者の全体像を把握する。	○65歳以上の市民 (4,000人) 郵送により調査票を送付・回収	2,553人 (回収率) 63.8%	19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性(性別、年齢、世帯構成、等) ・住まいの状況 ・身体状況、健康への意識・行動 ・社会参加、日常生活 ・保険料(負担感等) 等
在宅サービス・地域密着型サービス利用者調査 【抽出】 〔介護保険在宅サービス利用者調査〕	要介護認定者を対象に、在宅系サービスの利用状況・意向等を把握し、今後の在宅系サービス利用量の推計に活用する。	○在宅サービス・地域密着型サービス利用者 (4,000人) 郵送により調査票を送付・回収	2,225人 (回収率) 55.6%	19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性(性別、年齢、世帯構成、等) ・住まいの状況 ・身体状況、介護サービス利用状況 ・介護者の状況 ・保険料(負担感等) 等
介護予防サービス・地域密着型介護予防サービス利用者調査 【抽出】 〔介護保険在宅サービス利用者調査(要支援)〕	要支援認定者を対象に、介護予防サービス(地域密着型介護予防サービスを含む。)の利用状況、利用意向等を把握し、今後の介護予防サービスのサービス利用量の推計に活用する。	○介護予防サービス・地域密着型介護予防サービス利用者 (1,000人) 郵送により調査票を送付・回収	625人 (回収率) 62.5%	19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性(性別、年齢、世帯構成、等) ・住まいの状況 ・身体状況、介護サービス利用状況 ・介護予防への取り組み ・保険料(負担感等) 等

[] 内はアンケート票の表題

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・回収率)	調査時期	調査内容
介護保険サービス未利用者調査 【抽出】 [介護保険サービス未利用者調査]	介護保険サービスを利用しない理由を把握し、今後の介護サービス利用の意向や特定高齢者への回帰の可能性等を見込む。	○要介護（要支援）認定者で介護保険サービスを全く利用していない方 (2,000人) 郵送により調査票を送付・回収	1,101人 (回収率) 55.1%	19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、世帯構成、等） ・住まいの状況 ・身体状況、介護サービス未利用状況 ・保険料（負担感等） 等
特別養護老人ホーム入所申込者調査 【抽出】 [特別養護老人ホーム入所申込者調査]	特別養護老人ホームに入所申込みをしている方について、心身の状況や介護力、入所希望理由等を把握し、今後の特別養護老人ホーム整備の必要量を見込む上での参考とする。	○特別養護老人ホーム入所申込者 (1,500人)	937人 (回収率) 62.5%	19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、世帯構成、等） ・住まいの状況 ・身体状況、介護サービス利用状況 ・入所待ちの状況（入所希望施設の条件等） ・保険料（負担感等） 等
高齢者一般調査 (55～64歳) 【抽出】 [健康や介護についてのアンケート (一般調査)]	第4期計画の基本資料として、平成16年度に実施した高齢者一般調査を基本に経年変化を調査するとともに、制度改正に伴う新規項目を追加し本市高齢者の全体像を把握する。 今回は新たに55～64歳の市民を調査対象に加え、生活習慣病予防と介護予防の一体的実施の意義についても把握する。	○55～64歳の市民 (2,000人)	1,044人 (回収率) 52.2%	20年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、世帯構成 等） ・日常生活、健康の状況（健康づくり・生活習慣病予防・介護予防の取組み、持病等） ・社会参加・生きがい等の状況（日常の外出頻度等） ・住まいの状況（自宅・賃貸の別、共同住宅の居住階数等） ・介護保険に対する意識（サービスの認知度、制度改正の理解、介護保険サービス・介護予防事業の利用意向等） ・保険料（負担感等） 等

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・ 回収率)	調査 時期	調査内容
特定高齢者調査 【抽出】 [介護予防について のアンケート]	介護保険の認定非該当者のうち、基本チェックリスト及び医師による生活機能評価の結果、要介護状態となる可能性が高いと判断された高齢者について、転倒骨折予防教室など介護予防事業利用の動機、契機、効果、利用しない理由等を把握する。	○特定高齢者 (1,000人)	623人 (回収率) 62.3%	20年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、世帯構成等） ・日常生活、健康の状況（健康づくりの取り組み、持病等） ・社会参加・生きがい等の状況（日常の外出頻度を含む。） ・住まいの状況（自宅・賃貸の別、共同住宅の居住階数等） ・介護予防事業の利用状況（利用動機、利用契機・把握ルート等：利用していない場合にはその理由等） ・介護予防事業の成果、満足度、今後の利用意向 ・保険料（負担感等）等
在宅サービス (介護予防・地域密着型を含む)事業所調査 【悉皆】 [介護サービス事業所調査]	在宅サービス事業所の運営状況を調査し、利用者の状況、サービスの質の確保・評価、人材確保等について現状を把握し、今後の在宅サービス供給量を推計する上で参考とする。	○在宅サービス事業所 (居宅療養管理指導事業所を除く。) (2,103か所)	967か所 (回収率) 46.0%	20年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所（者）の概要（所在地、サービス提供内容・併設サービスの有無、従事者数・人件費比率等） ・利用者の状況（年齢、要介護度、ADL、認知症等） ・苦情対応、サービスの質向上のための取組状況 ・福祉・保健・医療との連携関係（医療機関、訪問看護ステーション、在宅サービス事業所との連携実態等） ・事業規模、今後の事業展開等

【介護保険事業所関係調査】

[] 内はアンケート票の表題

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・回収率)	調査時期	調査内容
<p>介護保険施設調査 (特養・老健) 【悉皆】 〔特別養護老人ホーム調査〕 〔介護老人保健施設調査〕</p>	<p>介護保険3施設の運営状況を調査し、入所者の状況や在宅復帰の可能性、サービスの質の確保・評価、人材確保等についての現状を把握し、施設間の機能分担のあるべき姿と現実のギャップ、利用者が求めるサービス等について検討する。 併せて、介護療養型医療施設の転換の見通し・影響を把握する。</p>	<p>○特別養護老人ホーム (100か所) ○老人保健施設 (70か所)</p>	<p>○特別養護老人ホーム 78か所 (回収率) 78.0% ○老人保健施設 40か所 (回収率) 57.1%</p>	<p>20年1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設・事業者の概要(所在地、サービス提供内容・併設サービスの有無、従事者数・人件費比率等) 入所者の状況(年齢、要介護度、ADL、認知症の有無、医療区分、リハビリの有無、入所前の居住地等) 退所者の状況(退所理由、退所後の行き先、退所者が出てから次の入所者が入るまでの平均的な期間等) 苦情対応、サービスの質向上のための取組状況(第三者委員、介護相談員の受入状況等) 福祉・保健・医療との連携関係(医療機関、訪問看護ステーション、在宅サービス事業所との連携実態等) 療養病床(医療型・介護型)の転換意向、受入れ先確保の具体方策等
<p>居住系サービス事業所調査 【悉皆】 〔介護サービス事業所(居住系)調査〕</p>	<p>特定施設(有料老人ホーム、ケアハウス)及び認知症高齢者グループホームの運営状況を調査し、入居者の状況、サービスの質の確保・評価、人材確保等についての現状を把握し、利用者が求めるサービス等について検討する。 併せて、療養病床転換に伴い退院を余儀なくされる医療区分の低い利用者の受入可能性も調査する。</p>	<p>○特定施設 (110か所) ○認知症高齢者グループホーム (240か所) ○養護老人ホーム (6か所) ○軽費老人ホーム・ケアハウス (10か所)</p>	<p>272か所 (回収率) 57.1%</p>	<p>20年1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設・事業者の概要(所在地、サービス提供内容・併設サービスの有無、従事者数・人件費比率等) 入居者の状況(年齢、要介護度、ADL、認知症の有無、入所前の居住地等) 退去者の状況(退去理由、退去後の行き先、退去者が出てから次の入居者が入るまでの平均的な期間等) 苦情対応、サービスの質向上のための取組状況 福祉・保健・医療との連携関係(医療機関、訪問看護ステーション、在宅サービス事業所との連携実態等) 療養病床(医療・介護療養型医療施設)の転換に伴う退去者受入の意思等

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・回収率)	調査時期	調査内容
介護サービス従事者調査 (ホームヘルパー) 【抽出】 〔訪問介護員(ヘルパー)へのアンケート〕	介護現場で働いているケアワーカー、ホームヘルパー等の介護サービス従事者の意識を調査し、働きがいの確保、定着率の向上に向けた効果的な対策を検討するための参考とする。	○ホームヘルパー (1,280人)	634人 (回収率) 49.5%	20年1月	<ul style="list-style-type: none"> 基本属性(性別、年齢、勤続年数、最終学歴、新卒・既卒の別、保有資格等) 居住環境(自宅・賃貸・寮の別)、通勤時間等 労働環境(勤務時間、休暇、交代制勤務における夜勤・準夜勤の頻度、福利厚生制度等) 働きがいについての意識、疲労感等 研修受講機会の確保等の環境 勤続する上で望ましいと思う待遇(給与・手当水準、勤務時間、施設内保育所、福利厚生制度等)等
居宅介護支援事業所調査 【悉皆】 〔居宅介護支援事業所調査〕	要介護者の在宅サービス利用調整状況を調査し、利用者の状況、サービスの質の確保・評価、人材確保等について現状を把握し、質の高いケアマネジメントを実現する上での参考とする。	○居宅介護支援事業所 (715か所)	476か所 (回収率) 66.6%	20年1月	<ul style="list-style-type: none"> 事業所(者)の概要(本社所在地等、サービス提供地域、サービス提供内容、併設サービスの有無、従事者数、職員研修、事業者連絡会等への参加、離職率等) 利用者の状況(年齢、要介護度、ADL、認知症の有無、利用満足度等) 苦情対応、サービスの質向上のための取組状況 福祉・保健・医療との連携関係(医療機関、訪問看護ステーション、在宅サービス事業所との連携実態等) 事業規模、今後の事業展開等

[]内はアンケート票の表題

調査の種類	調査目的	調査対象	回収状況 (回収数・回収率)	調査時期	調査内容
<p>ケアマネジャー調査 【悉皆】 〔ケアマネジャー調査〕</p>	<p>ケアマネジャーの業務実態、制度改正（標準担当件数の低減、介護報酬区分の変更）前後の仕事ぶりの変化、ケアマネジメント業務実施上の課題等について、現場の第一線でサービス調整に従事するケアマネジャーの意識を把握する。</p>	<p>○ケアマネジャー (1,642人)</p>	<p>1,060人 (回収率) 64.6%</p>	<p>20年1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、勤続年数、最終学歴、新卒・既卒の別、ケアマネ以外の保有資格、転職経験等） ・所属する居宅介護支援事業所の状況（設置主体の法人類型、独立型・併設型の別等） ・労働環境（勤務時間、休暇、時間外勤務の実態等） ・働きがいについての意識、疲労感等 ・研修受講機会の確保等の環境 ・勤続する上で望ましいと思う待遇（給与・手当水準等） ・利用者の状況（要介護度別担当人数等） ・福祉・保健・医療との連携関係（医療機関、訪問看護ステーション、在宅サービス事業所との連携実態等）等 ・サービス調整上困難と感ずること ・行政からの支援として望むこと等
<p>介護サービス従事者調査 (施設介護職員) 【抽出】 〔施設介護についてのアンケート(介護職員アンケート)〕</p>	<p>介護現場に従事しているケアワーカー、ホームヘルパー等の介護サービス従事者の意識を調査し、働きがいの確保、定着率の向上に向けた効果的な対策を検討するための参考とする。</p>	<p>○特別養護老人ホームに従事するケアワーカー (1,000人)</p>	<p>529人 (回収率) 52.9%</p>	<p>19年11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別、年齢、勤続年数、最終学歴、新卒・既卒の別、保有資格等） ・労働環境（勤務時間、休暇等） ・働きがいについての意識、疲労感等 ・研修受講機会の確保等の環境 ・勤続する上で望ましいと思う待遇等